

大会参加にあたってのチェックリスト①

参加選手の注意事項

- 公共交通機関利用時もマスクの着用等、予防の徹底をすること。
- 参加承諾書兼健康チェック表を漏れがないように記入し提出すること
- 体調管理を徹底し、少しでも体調がすぐれないときは参加を見合わせることを。

○事業前（当日）に以下の項目の症状がある場合は参加を見合わせてください。

- ・平熱を超える発熱 ・咳、のどの痛み ・胸の痛み
- ・嗅覚、味覚異常 ・鼻水・鼻づまり ・息苦しい ・全身倦怠感

***事業前の体調管理を徹底し、上記症状が続いていた場合には参加を見合わせることを。**

***事業2週間前からの検温や体調チェックは各校実施の物で確実にチェックをすること**

○事業前に以下のいずれかに該当する場合には参加不可とします。

- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合（待機期間内）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・大会前14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

□入場前後、試合前後、トイレ後等、手洗い（30秒以上）やうがい、手指の消毒の徹底をすること。

□手洗い後に手を拭くためのマイタオルと汗ふきタオルの両方を持参すること。

□マスク等の持参・着用をすること。

□入場時、会話時、着替え等の競技を行っていない間については、マスクを着用すること。

（ただし、夏の事業でのマスクの着用は、熱中症等のリスクが高まるので競技中の選手はマスクを外すことを原則とする。）

□コート外の選手（ベンチ・アップエリアにいる選手）は必ずマスクを着用すること。

□マスク着用時も含め、こまめに水分補給し、熱中症予防に努めること。（イオン飲料等推奨）

□受付時・入場時・練習中・更衣中等も、互いの距離をとること。

□練習中、試合中の大きな発声は控えるようにすること。

□ネット際等でも、相手に向けた状態での大きな発声は控えること

□鼻水、唾液などが付いたゴミやマスク、使用済みのテーピングなどはビニール袋に入れ持ち帰ること。

□スクイズボトルの回し飲み・タオルの共有等もないようにすること

□競技中のハイタッチや円陣等は腕のタッチ等にとどめること。

□競技中、靴底を手でさわらないこと。

参加にあたってのチェックリスト②

運営側（チーム責任者）の注意事項

- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた承諾書兼健康チェック表について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと（各校顧問が管理・保管）＊事業2週間前からの体調管理の徹底（各校での健康観察表のチェック・当日の検温等）
- 事業参加に当たり、生徒については保護者の理解を得た上で、無理が無いように配慮すること。また、基礎疾患がある場合は主治医に相談し適切に判断すること。
- 各校代表者は各事項がきちんと遵守できるように指導すること
- 運営スタッフ（各校顧問）等は、必ずマスクを着用すること
- 審判時は電子ホイッスル（マスク着用の上ホイッスルも可）を使用すること（音量の小さい物は不可）
- 事業後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は速やかに、各校から専門部に濃厚接触者の有無等について報告すること
- スクイズボトルの回し飲み・タオルの共有等もないように指導すること
- 入場前後は手洗い（30秒以上）や手指の消毒を済ませ、前グループが完全に退場してから入場するように指導すること。
- 公共交通機関利用時もマスクの着用等、予防の徹底を指導すること。
- 参加承諾書兼健康チェック表を漏れがないように記入し提出させること
- 体調管理を徹底し、少しでも体調がすぐれないときは参加を見合わせるよう指導すること。
- 手洗い後に手を拭くためのマイタオルと汗ふきタオルの両方を持参するよう指導すること。
- 運動中以外のマスク等の着用・持参を指導すること。
- 入場時、会話時、着替え等の競技を行っていない間については、マスク着用を指導すること。
（ただし、夏の事業でのマスクの着用は、熱中症等のリスクが高まるので競技中の選手はマスクを外すことを原則とし指導すること。）
- 受付時・入場時・練習中・更衣中等も、互いの距離をとることの指導をすること。
- 練習中の大きな発声は控えるように指導すること
- ネット際等でも、相手に向けた状態での大きな発声は控えるよう指導すること
- 鼻水、唾液などが付いたゴミやマスク、使用済みのテーピングなどはビニール袋に入れ持ち帰るように指導すること。
- スクイズボトルの回し飲み・タオルの共有等もないように指導すること
- 競技中のハイタッチや円陣等は腕のタッチ等にとどめることを指導すること。
- 競技中、靴底を手でさわらないことを指導すること。
- その他、要項や感染症に対する予防徹底のプリントを事前に参加者に指導すること。
- マスク着用時も含め、熱中症予防のため、こまめに水分補給するよう指導すること(イオン飲料等推奨)**